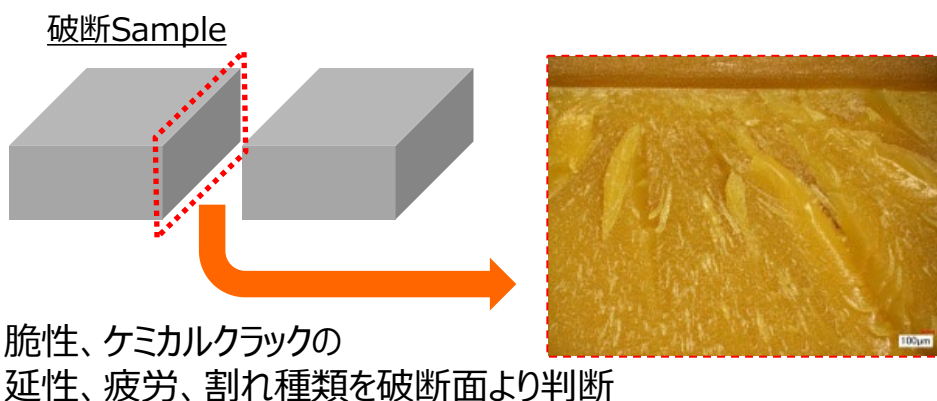
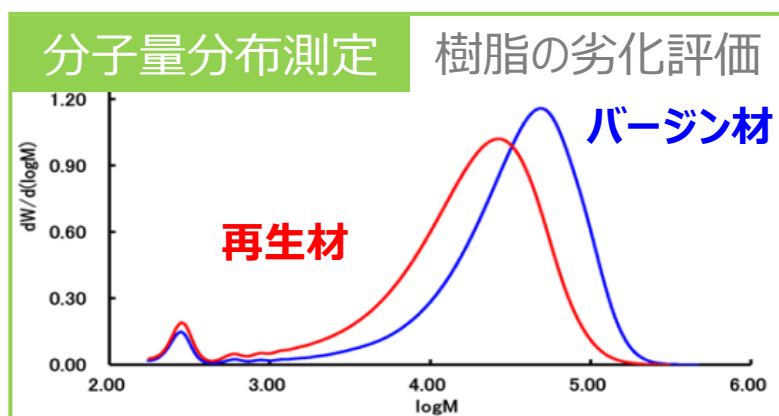


市場回収資源を原料とした製品は、バージン材を用いたものと比べて品質が下がるケースが多くみられます。

今後リサイクル材の活用が進むにつれて、要求品質も高くなると予想されますので、対策が必要です。

再生材の性能低下要因調査

- ◆樹脂劣化評価 分子量分布測定による分子量低下確認
- ◆樹脂材料の破断原因調査 光学顕微鏡、SEM等での破面解析
- ◆成形性の評価 溶融粘度、伸長粘度等による成形性評価



これらの技術を活用して品質低下の要因を突き止め、回収、選別、再生の工程で要因を回避・低減できれば、最終製品の品質を改善することができます。